

## **N8190-173/174/180 Fibre Channel コントローラ ファームウェア(02.11.01)適用手順**

Starter Pack Version S8.10-014.03ではN8190-173/174/180 Fibre Channel コントローラのファームウェア(02.11.01)を適用することができません。

Windows OS環境ではStarter Pack適用手順の「2-1-4-1. 新規インストール」もしくは「2-1-4-2. 運用中システムのアップデート」、Linux OS 環境では「2-2-2. ファームウェアのアップデート」、その他 OS環境では「2-3-1. ファームウェアのアップデート」、iStorage NSシリーズの場合は「5. Starter Packの適用」の作業完了後に本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアのバージョンを確認してください。

N8190-173/174/180のファームウェアバージョンの表示が「02.11.01」もしくは「2.11.01」でなかった場合は、本書の【ファームウェア適用手順】の<Windows OS適用手順>、<Linux OS適用手順>、<iLO Webインターフェイスからの適用手順>、<システムユーティリティ(System Utilities)からの適用手順>いずれかの手順を参照してファームウェア(02.11.01)を適用してください。

ファームウェアの適用が完了したら再度本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、N8190-173/174/180のファームウェアバージョンがすべて「02.11.01」もしくは「2.11.01」になっていることを確認してください。

※現在のファームウェアバージョンが「02.11.09」もしくは「2.11.09」の場合は、<Windows OS適用手順>、<Linux OS適用手順>、<iLO Webインターフェイスからの適用手順>でファームウェアを適用できないことがあります。この場合は<システムユーティリティ(System Utilities)からの適用手順>でのファームウェア適用を実施してください。

## 【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

### <システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

- 1) POSTで<F9>キーを押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) 「システム構成(System Configuration)」を選択します。
- 3) 対象のFibre Channel コントローラを選択します。

型番とFibre Channel コントローラの対応は以下の通りです。

N8190-173: HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA

N8190-174: HPE SN1610Q 32Gb 2p FC HBA

N8190-180: HPE SN1700Q 64Gb 2p FC HBA

- 4) アダプタ情報(Adapter Information)を選択します。
- 5) マルチブートバージョン(Multiboot Version)を確認します。

### < iLO Webインターフェイスからの確認方法 >

- 1) マネージメントLAN経由で接続し、iLO Webインターフェイスにログインします。
- 2) 左のメニューから「ファームウェア(Firmware)」を選択します。
- 3) 表示が更新されたら「ファームウェアインベントリ(Firmware Inventory)」を選択します。
- 4) ファームウェア名(Firmware Name)とファームウェアバージョン(Firmware Version)の一覧が表示されますので対象となるファームウェア名とファームウェアバージョンを確認してください。

型番とファームウェア名の対応は以下の通りです。

N8190-173: HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA

N8190-174: HPE SN1610Q 32Gb 2p FC HBA

N8190-180: HPE SN1700Q 64Gb 2p FC HBA

## 【ファームウェア適用手順】

### <Windows OS適用手順>

- 1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティ(System Utilities)から「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- 2) サーバーに管理者権限でサインインしてStarter Pack S8.10-014.03の/32g\_fc/q/win/に収録されたexeファイルを任意のフォルダーにコピーします。
- 3) コピーしたexeファイルをダブルクリックします。
- 4) 「パッケージセットアップ」ウィンドウが起動するので、バージョンが「2025.05.02」となっていることを確認して「インストール」をクリックします。
- 5) メッセージが表示されますので再度「インストール」をクリックします。  
現在適用されているファームウェアバージョンによって、警告が表示されることがありますが、そのままインストールを進めてください。
- 6) インストールが実行されます。完了まで数分かかります。途中ウィンドウのタイトルバーに「セットアップ（応答なし）」と表示されることがありますが、そのままお待ちください。
- 7) インストールが完了したことを確認したら「閉じる」をクリックします。
- 8) システム再起動が要求されたら「はい」をクリックして再起動します。  
再起動が要求されない場合は手動で再起動します。  
※複数の対象となる型番のFibre Channel コントローラをご使用の場合、上記手順を実行することですべての対象となる型番のFibre Channel コントローラに対してファームウェアが適用されます。
- 9) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照してマルチブートバージョンもしくはファームウェアバージョンが「02.11.01」もしくは「2.11.01」となっていることを確認してください。
- 10) 手順1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。

#### <Linux OS適用手順>

- 1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティ(System Utilities)から「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- 2) サーバーにrootユーザーでログインします。
- 3) マウントポイントを作成します。作成済みの場合は、本操作は不要です。  
# mkdir /media/cdrom
- 4) Starter Pack S8.10-014.03をサーバーにマウントします。  
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
- 5) ファームウェアモジュールが収録されたディレクトリに移動します。  
# cd /media/cdrom/32g\_fc/q/rhel
- 6) 以下のコマンドを順番に実行します。  
# rpm -Uvh firmware-fc-qlogic-2025.05.02-1.1.x86\_64.rpm  
# cd /usr/lib/x86\_64-linux-gnu/firmware-fc-qlogic-2025.05.02-1.1  
# ./setup -f
- 7) 以下のコマンドを実行して、サーバーを再起動します。  
# reboot
- 8) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照してマルチブートバージョンもしくはファームウェアバージョンが「02.11.01」もしくは「2.11.01」となっていることを確認してください。
- 9) 手順1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。

#### <iLO Webインターフェイスからの適用手順>

- 1) 対象のFibre Channel コントローラが実装されたサーバーの電源をON、もしくは再起動を行い、POST中に<F9>キーを押して、「システムユーティリティ(System Utilities)」を立ち上げた状態にします。
- 2) Starter Pack S8.10-014.03のフォルダー"/32g\_fc/q/fwpkg/"に収録された"mh021101.upd\_header.pldm.fwpkg"ファイルを管理用端末の任意のフォルダーにコピーします。
- 3) 管理用端末から対象のサーバーにマネージメントLAN経由で接続し、iLO Webインターフェイスにログインします。
- 4) iLO Webインターフェイスの左メニューから「ファームウェア(Firmware)」を選択します。
- 5) メインの表示が更新されたら「ファームウェアインベントリ(Firmware Inventory)」を選択します。
- 6) 右上の「ファームウェアのアップデート (Update Firmware)」を選択します。
- 7) 【ファームウェアのアップデート(Update Firmware)】ウィンドウが表示されます。ファイルロケーション (File Location)のチェックを[ローカルファイル(Local file)]に入れた状態で、ローカルファイルパス (Local File Path)欄の[browse]を選択して、手順2)でコピーしたファイルを選択します。
- 8) 「TPMオーバーライドの確認(Confirm TPM override)」にチェックを入れて[アップロード (Upload)]ボタンを押します。
- 9) アップデートが進行しますので、「完了 ホストサーバーを再起動して、変更を有効にします。(Completed. Restart the host server for the changes to take effect.)」と表示されるまで待ちます。
- 10) 「完了 ホストサーバーを再起動して、変更を有効にします。(Completed. Restart the host server for the changes to take effect.)」と表示されたら、iLO Webインターフェイスの左メニューから「ホスト(Host)」を選択します。
- 11) メインの表示が更新されたら「電源制御(Power Controls)」、「リセット(Reset)」の順に選択し、確認のウィンドウが開いたら「リセットの確認(Confirm Reset)」を選択し、サーバーを再起動してファームウェアの更新を有効にします。
- 12) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照してマルチブートバージョンもしくはファームウェアバージョンが「02.11.01」もしくは「2.11.01」となっていることを確認してください。

<システムユーティリティ(System Utilities)からの適用手順>

- 1) Starter Pack S8.10-014.03のフォルダー"/32g\_fc/q/fwpkg/"に収録された  
"mh021101.upd\_header.pldm.fwpkg"ファイルをUSBメモリにコピーします。
- 2) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティ(System Utilities)から「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- 3) 対象のFibre Channel コントローラが実装されたサーバーの電源をON、もしくは再起動を行い、POST中に<F9>キーを押して、「システムユーティリティ」を立ち上げます。
- 4) 手順1)で作成したUSBメモリをサーバーに接続します。
- 5) 「内蔵アプリケーション(Embedded Applications)」を選択します。
- 6) 「ファームウェアアップデート（Firmware Update）」を選択します。
- 7) 対象のFibre Channel コントローラが実装されたスロットを選択します。  
Fibre Channel コントローラの型番とスロット番号の隣に表示される名称との対応は以下の通りです。  
N8190-173: HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA  
N8190-174: HPE SN1610Q 32Gb 2p FC HBA  
N8190-180: HPE SN1700Q 64Gb 2p FC HBA
- 8) 「ファームウェアファイルを選択(Select a firmware file)」を選択します。
- 9) 「接続メディア上のファイルシステム（File Systems on Attached Media）」を選択します。
- 10) 手順4)で接続したUSBメモリを選択します。
- 11) "mh021101.upd\_header.pldm.fwpkg"ファイルを選択します。
- 12) 「イメージバージョン（Image Version）」の値が「2.11.01」となっていることを確認します。
- 13) 「ファームウェアアップデートを開始（Start firmware update）」を選択します。
- 14) 同様の手順ですべてのFibre Channel コントローラのファームウェアのアップデートが完了したら「終了(Exit)」を数回選択して、サーバーを再起動します。
- 15) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照してマルチブートバージョンもしくはファームウェアバージョンが「02.11.01」もしくは「2.11.01」となっていることを確認してください。
- 16) 手順2)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。